

## 3 団体合同懇親パーティ開催レポート

2024 年 6 月 14 日  
一般財団法人ベターリビング  
広報部

去る 6 月 7 日夕刻、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において、当財団、一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）および一般社団法人ベターライフリフォーム協会（BLR）の合同懇親パーティを開催いたしました。日頃よりご支援・ご交誼をいただいている約 400 名のお客様にご参集いただきました。

本レポートでは、おいでいただいた皆様への御礼とともに、そのご報告をいたします。

### 1. 開会

はじめに、当財団の進藤孝生会長より、「一般財団法人ベターリビング（CBL）は両協会と密接に連携し、社会・政策・産業界のニーズに的確に対応していく。今後 5 年間の運営目標をまとめた中期計画<sup>\*</sup>には、①地球環境や社会に貢献するグリーントランスフォーメーション（GX）の取組みの加速化、②DX の徹底を通じた顧客ニーズ対応効果の最大化、③人材育成や勤務環境の徹底改善と経営基盤の強化を中心課題として位置づけた。ご参集の産学官の皆様のご指導を切にお願いしたい。」と、開式のご挨拶を申し上げます。

※当財団の中期計画紹介サイト：<https://www.cbl.or.jp/about/keikaku.html>

次に、一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）の内藤弘康会長より、「当協会は、設立以来『優良な住宅部品の普及と優良住宅ストック社会実現』という理念のもと、各活動を続けてきた。昨年は、『住宅部品×SDGs 宣言』に基づき、モノづくりを超えた新たな取組であるこども食堂への支援を本格化させた。時代の変化にあわせて活動も多様化し、柔軟に対応していると感じる。昨今の住宅業界は、多くの課題を抱えながら大きな変革期を迎えている。当協会は、急激な環境変化をしっかりと捉え、住宅部品のあり方や役割について、業界内はもちろん、エンドユーザーに対してもしっかりと発信と提案を行っていく。」と、ご挨拶いたしました。

### 2. ご来賓挨拶、乾杯

ご臨席いただいた来賓の方々を代表して、国土交通省の石坂聡住宅局長よりご挨拶をいただきました。石坂局長からは、「2050 年のカーボンニュートラルの実現を重要な課題と考えており、建築物の省エネ基準適合義務化、省エネ表示制度の創設に加えて、ZEH 住宅整備や省エネリフォーム等に対する財政支援を実施している。若い世代が将来に希望を持つには、暮らしの中心である住まいがより良いものであることが大切である。2050 年のカーボンニュートラルの達成と、より良い住まいづくりのために、三団体に協力をお願いしたい」とお言葉をいただきました。

続いて、一般社団法人ベターライフリフォーム協会（BLR）の橋本政昭会長より、「BLRの3つの機能（業務品質審査による質向上、協会からの情報発信、地域会交流）をより強化するとともに、リフォームのDX化も進めていきたい」との決意とともに乾杯の発声を行い、賑やかに懇親が幕をあけました。



CBL 進藤会長



ALIA 内藤会長



国土交通省石坂局長



BLR 橋本会長

### 3. 懇談、中締め

三団体の三会長が共に揃う懇親パーティは五年ぶりとなりました。会場には笑顔が溢れ、はずんだ会話があちらこちらから。再会を喜び旧交を温めあう声なども聞こえてきます。

そして、瞬く間に時が過ぎ、最後に、当財団の眞鍋純理事長からご参集いただいた皆様へのお礼を申し上げ、「ALIAとBLRと力を合わせて、CBLが日本一お役に立てる財団になれるよう努力する」と締めくくり、お開きといたしました。



CBL 眞鍋理事長

### 4. おわりに

ご参加いただいた皆様のおかげさまをもちまして、楽しく有意義な会となりましたことに、心より感謝を申し上げます。来年も皆様とお会いできることを心待ちにしております。

※ 当財団の中期計画紹介サイトをリニューアルいたしました。こちらからご覧ください。

<https://www.cbl.or.jp/about/keikaku.html>

<問い合わせ> 住 所：〒102-0071 千代田区富士見 2-7-2  
担 当：広報部 (03-5211-1402)

